11

演題

異年齢活動による子どもの育ち

法人名	社会福祉法人 横浜悠久会
施設名	昴保育園

発表者名	東 奈菜
(職名)	保育士
発表者名	石川 沙樹
(職名)	保育士
発表者名	
(職名)	

住所	横浜市保土ケ谷区西久保町114-250					
TEL	045-730-4311	FAX	045-730-4312			
メールアドレス	subaruhoikuen@za.wakwak.com					
URL						
定員	129名	職員数	35名			

発表の概要・内容

くはじめに>

私たちの園では3.4.5歳児クラスを中心に異年齢活動を取り入れています。 各クラス縦割りのグループに分かれ、テーマに沿ったグループ名を友だちと一緒に考えたり、 ハロウィンや新年会等、色々な活動を行っています。異年齢の子どもたちが集まる活動の中 で、どんな関わりが持てるのか、その関わりによって子どものどんな部分が育つのか、に着目 して活動を行いました。

①造形

発達段階の違う3.4.5歳児クラスの子ども達それぞれが満足感、達成感を味わえる造形遊びができないか?と考えました。大きな模造紙にダイナミックにクレヨンと絵具で絵を描きながら、年上の友だちに絵具の使い方を教わったり、一緒に作り上げる楽しさを共有することができました。

②ゲーム遊び

「いきなりおにごっこ」「猛獣狩り」など、ルールの理解を必要とするゲーム遊びを行いました。理解力に差がある異年齢の子ども達が楽しさを共有できるにはどんな援助が必要なのかを考えながらも、見守ることも大切にしていく中で、相手のことを意識しながら関わる様子が見られるようになってきました。

各活動の様子について写真を用いながらお伝えしていきたいと思います。 又、これらの活動によって得られた異年齢の関わりや育ちを大切に、現在も異年齢活動を行っ ています。

メモ			
	-		